

中村 瑞穂
法学研究科・准教授

【研究】

令和6年度は、従前から取り組んできた研究テーマ(科研費若手研究「契約の清算と原状回復の不能に関する基礎的研究」(科研としての研究期間は終了)及び同若手研究「解除と履行利益賠償の効果の抵触に関する基礎的研究」)に関し、阪大法学に掲載中の論稿の連載を継続した。

令和7年度中に間に合わせることはできなかったが、早期の連載の完成のために準備を進めている。

【教育】

令和7年度は、法学部では、講義科目「民法1」、演習科目「演習 1a,1b,2a,2b」、「法政導入演習」、法学研究科では、演習科目「民法の基礎」の授業を担当した。

法学部の民法1では、民法総則・物権法の講義を行った。この分野の講義を担当するのは今回が初めてであり、前期の間から、文献の収集や読み込みを丹念に行ったうえで講義の準備を行った。授業では、基本的な制度内容を着実に理解したうえで、応用・発展問題にも対応できる力を身につけられるよう、授業内容を工夫した。

演習 1a,1b,2a,2b では、判例研究と事例演習を行った。判例研究では、民法(財産法分野)の重要判例を取り上げ、報告担当者による報告にもとづき、参加者全員で検討を行った。事例演習では、発展的な内容に対応できる能力を養えるよう、授業内容を工夫した。

1 年生を対象とする法政導入演習では、判例報告と事例演習を行った。判例報告では、文献の調査方法、判決文や法律文献の読み方、報告の仕方、文書作成方法等が学べるよう授業運営を行なった。事例演習では、民法総則・物権法の重要問題についての理解を深められるよう、授業内容を工夫した。

法学研究科の民法の基礎では、判例研究(報告と検討)を行った。民法の代表的な判例を取り上げ、日本民法の全体像を捉えてもらえるように授業を行った。

【管理運営】

法学部教務委員会委員、法学研究科高等司法研究科学生支援室室員、法政実務連携センター運営委員会委員を務めた。

【社会貢献】

吹田市入札等監視委員会委員を務めた。